

JRの責任産別として
組織と運動を磨き、
すべての関係者との対話を通じて
強くしなやかなJR産業を築こう!

<http://www.jr-rengo.jp>



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階

facebook

TEL (NTT) 03-3270-4590

FAX (NTT) 03-3270-4429

1部20円(但し組合費に含む)

●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬

X (旧twitter)

JR連合



JRグループで働くすべての仲間の雇用・生活を守るために 強くしなやかなJR産業を創ろう

写真: 海と列車と立山の息づかい(氷見線 雨晴~越中国分間) 撮影者: 松本 信治さん (JR西労組 京橋運輸分会)



事務局長
今井 孝治



副会長
辻村 和裕



副会長
吉田 祥司



副会長
中村 鉄平



副会長
羽野 敦之



副会長
鎌田 隆司



副会長
小林 徹志



副会長
人見 圭一



会長
上村 良成



特別執行委員
大野 友和



特別執行委員
相良 夏樹



執行委員
吉田 春菜



執行委員
川端 準一



執行委員
榎裕 文野



執行委員
(組織局長)
谷口 昌隆



執行委員
(労働政策局長)
住吉 一家



執行委員
(産業政策局長)
石川 敏也



執行委員
(企画局長)
宮野 勇馬



会計監査員
福本 英治



会計監査員
宮崎 勝典



特別執行委員
本田 雅明
(こくみん共済coop派遣)



特別執行委員
福森 敬和
(交運労協派遣)



特別執行委員
(連合派遣)
中山 耕介



特別執行委員
(青年・女性委員会)
石川 和磨



特別執行委員
(青年・女性委員会)
高杉 恭平



特別執行委員
(グループ労組連絡会)
海上 弓彦

2026新春座談会

女性の声を起点にみんなが参画できる労働組合と誰もが働きやすい職場をつくる



単組で運動をけん引する役割を担う女性リーダーから多様な意見を伺った

[司会(今井事務局長)] 新たな年のスタートとなりました。上村会長、まずは今お気持ちを率直に聞かせてください。

[上村会長] 昨年、6年ぶりにJR連合へ復帰し、会長に着任しました。6年前と比べ、JR連合の活動の幅が大きく広がっていると感じますし、上部団体「連合」の中でのJR連合の存在感も増していると感じます。JR産業を取り巻く環

境も日々変化しており、6人の体制できることは限りませんが、しっかりと成果を出していきたいと考えています。

まずは安全です。熱中症を含め、多くの方が労働災害で亡くなりました。安全指針を10年ぶりに改訂す

る作業に着手していますが、「安全はすべてに優先する」という考え方のもと、職場で命を落とす不幸な事象がゼロになるよう、推し進めて

いきたいと考えています。

組織について、JR東日本においては、現在「社友会」を中心に、労働組合に拠ら

ない労使コミュニケーションが残念ながら蔓延してい

ます。会社と真摯に交渉し、

チエック機能を果たせるの

は、憲法によって労働三権

を保障された労働組合以外

にありえません。労働基準

関係法制の見直しにおいて、

引き続き労働組合を中心と

した労使関係が基盤となる

JR連合においても、連合が策定した「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2に基づき、「第5次男女平等参画行動目標」の策定を進めているところであり、第4次計画で目標としていた「各種議決機関への女性参画率」は、直近の2大会において代議員について達成した一方、女性役員比率については、道半ばであるのが現状である。

新年にあたり、JR連合や単組で活躍する女性専従役員3人を招き、男女平等参画の現在地を共有すること

にも、女性役員のさらなる育成に向けた意見交換を通じ、労働運動の活性化への気付きを得る機会とする。

連合の会長に続き、昨年は女性の総理大臣が誕生し、日本における女性の活躍を示す出来事となつたが、日本のジェンダーギャップ指数は依然として148か国中118位であり、政治・経済分野における女性のさらなる活躍が望まれている状況が続いている。新年にあたり、JR連合や単組で活躍する女性専従役員3人を招き、男女平等参画の現在地を共有することも、女性役員のさらなる育成に向けた意見交換を通じ、労働運動の活性化への気付きを得る機会とする。

また、女性が労働運動に参画しやすい環境は誰もが労働組合に参画しやすい環境

です。男女平等参画を通じ、組織と運動をさらに拡大・強化していきます。

労働条件についていえば、実質賃金の上昇が物価上昇に追いついていませんし、他産業の賃上げのベースに

よう、働きかけていきます。

また、女性が労働運動に参画しやすい環境は誰もが労

働組合に参画しやすい環境

です。男女平等参画を通じ、組織と運動をさらに拡大・強化していきます。

JR連合に続々加入!

イーストユニオン秋田地本 1名
(12/5付)
JR北労組自動車支部琴似分会 1名
(12/8付)

ようこそJR連合へ ともに民主的な労働運動を 推し進めよう!

明けましておめでとうござい
ます。組合員の皆様におかれま
しては、健やかに新年を迎える
年頭にあたり、心新たに3点に
ついて決意を申し上げます。
まず第一に安全の確立です。
4月25日で福知山線列車事故が
引き起こしたJR西日本、JR
西労組出身として、事故の反省
と教訓を胸に、引き続き何より
も安全にこだわってまいります。
組みによりJR産業の安全性は
確実に向かっていますが、改め
て、各職場で危険
やリスクの洗い出
しをおこなって頂
くことを要請しま
す。JR産業の基盤は安全と信
頼です。これまでの不斷の取り
組みによりJR産業の安全性は
確実に向かっていますが、改め
て、各職場で危険
やリスクの洗い出
しをおこなって頂
くことを要請しま
す。

【年頭所感】 安全の確立を前提に 責任産別として課題に向き合う

会長 上村 良成

事業の運営は成り立
ません。JR産業
では昨年6人の方が
労災で命を落としま
した。そのうち4人
が熱中症です。昨今
は猛暑下では従来の
対策だけでは不十分
です。各職場での臨
機応変な対応を行
うことをお願いいたし
ます。

JRの創業者本田宗一郎氏の
言葉です。組合員の皆さんが安
心して働くことでの
きる環境なくして、
「安全なくして生産なし」。
ホンダの創業者本田宗一郎氏の
言葉です。組合員の皆さんが安
心して働くことでの
きる環境なくして、
「安全なくして生産なし」。
これができます。しかしながら
JRグループでは今なお人
財の確保・定着に苦労していま
す。JR産業の魅力を
高めるためにも、継続
的に質上げが重要であ
ることは論をまちませ
ん。社会全体では、高止
まりしている物価の影
響で実質賃金のマイナ
スが続いていますが、最
低賃金は6%以上、上
がりました。人財への投
資は最大の成長投資で
す。2026春季生活闘争方針案
においても、堂々と
ベースアップを掲げ、積極
的な賃上げにこだわって
まいります。JR連合
加盟全組がワンチー
本紙第690号2面
「北海道地協四役 副議
長」のお名前に誤りが
ありました。正しくは
「菊地克敏」さんです。
訂正しお詫びいたし
ます。

訂正とお詫び

本紙第690号2面
「北海道地協四役 副議
長」のお名前に誤りが
ありました。正しくは
「菊地克敏」さんです。

訂正しお詫びいたし
ます。

お知らせ

予定」「2026春季生活闘争方針案」討議資料は、速報性を期すべく、通常の紙ベースでの発行はせず、「JR連合ホームページ」での公開のみとします。通常号とは、発行形態が異なりますので、お知らせいたします。



中村安全対策委員長（JR連合副会長）から業種間安全検討会開催にあたっての思いが語られた



電力総連大森会長代理

その後、電力総連
の安全に関する取り
組みを学び、熱中症
の対策や権威勾配が
ある中でのコミュニ

ケーションの図り方、さら
にはメンタルヘルス対策な
ど、多岐にわたって充実し
た意見交換を行った。

翌27日には、東京電力

ホールディングス安全考
動センターを訪問し、墜落や
感電などの労働災害の類型
ごとに、体感訓練を行った。

「安全に絶対はない」とい
う考え方と「体感・体験・
体得」をコンセプトに研修

翌27日には、東京電力
ホールディングス安全考
動センターを訪問し、墜落や
感電などの労働災害の類型
ごとに、体感訓練を行った。

翌27日には、東京電力

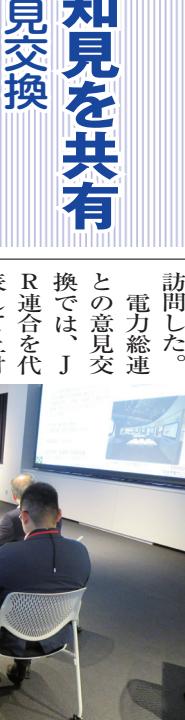
は、11月26日に電力総連、
翌27日に東京電力ホール
ディングス安全考動センター
を取り組みなどを学ぶとともに
J R連合安全対策委員会
を訪れ、第17回業種間安全
検討会を開催した。この
2日間で、労災事故防止の
心坦懐に学ぶ機会として開
催している。今回は、近年
JR産業内において、感電
や墜落災などが依然多く
発生していることから、同
種の災害に対する予防策や
対策を学ぶべく、電力総連
および東京電力ホールディング
ス安全考動センターを

に意見交換を行った。

業種間安全検討会は、J
R以外の産業や企業におけ
る安全確立の取り組みを虚
構について学んだ。

JR連合は、引き続き安
全の取り組みを一層推進す
るとともに、今回の業種間
安全検討会で得られた知見
をさらなる安全構築に活か
していく。

安全対



安全考動センターで東京電力の安全に対する取り組みの説明を受ける

第38回中央委員会の開催について

1. 日時 1月28日(火) 13時～17時
2. 場所 ホテルマイステイズ新大阪
コンファレンスセンター
3. 議題
 - (1) 経過報告
 - (2) 当面する活動方針
 - (3) 2026春季生活闘争方針
 - (4) その他
4. 出席範囲
 - (1) JR連合役員(特別執行委員、会計監査員含む)
 - (2) 中央委員 34名
 - JR北労組1名、イーストユニオン1名、JR東海ユニオン11名、JR西労組13名、JR四国労組3名、JR九州労組4名、貨物鉄産労1名、
 - (3) 特別中央委員 10名
 - JR東海連合3名、JR西日本連合3名、JR四国連合1名、JR九州連合1名、JR貨物連合1名、鉄構労1名



ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス労働組合

コミュニケーションの活性化です。具体的な取り組みとして、職場の雰囲気作りを目的としたレクリエーションを開催しています。今年度は、ソフトボール大会と食事会を開催し、ベテランから若手までの交流を図りました。世代間の垣根を越えた交流は、組合員同士の距離を縮める良い機会となりました。



世代を越え交流を図ったソフトボール大会

今後も物価高騰や人員不足といった職場環境の不安を少しでも取り除けるよう一丸となって活動していきます。

委員長の口癖である「イケてる組合」をめざし、これからも組合員の皆さんのために尽力します。